

洞爺湖有珠山ジオパークには、信仰の対象になった山、開拓の物語が秘められた山など、個性豊かな山々がたくさんあります。山頂からの眺めはもちろん、花々の美しさや野鳥の声を楽しむのも登山の魅力です。

実は、ジオパーク内にある山はほとんどが火山です。今回はその成り立ちの物語と、登山道をご紹介します。



北海道地質百選のひとつ「メガネ岩」

火山が作った形を楽しむ・昆布岳（こんぶだけ）

- ・場 所：豊浦町と二セコ町の境
- ・標 高：1044.9m（登り約180分、下り約120分）
- ・名 前：アイヌ語の「コンボヌプリ」「トコンボヌプリ」（こぶ山の意味）が由来と言われる。昆布は当て字。
- ・山の姿：なだらかな裾野と、山頂部のコブのような形が特徴的。
- ・なりたち：約300万年前に活動した火山で、雨や雪で浸食がすすみ、なだらかになった。
- ・見どころ：5合目近くにある「メガネ岩」。自然にできたアーチは、溶岩が冷えて残ったもの。



稜線続きの前紋別岳からの眺望。
洞爺湖や羊蹄山が見えることも。

登山初心者にもおすすめ・紋別岳（もんべつだけ）

- ・場 所：伊達市
- ・標 高：715m（登り約130分、下り約110分）
- ・名 前：アイヌ語の「モベツ」（静か・川の意味）が由来と言われる。親しみを込めて「東山」と呼ぶ人も多い。
- ・山の姿：なだらかな裾野で、稜線には笹原が広がる。
- ・なりたち：数十万年前に活動した火山。明治時代の開拓当時、笹で覆われていた3合目（草分け神社跡）付近では、木を育てるために馬や牛を放牧し下草を食べさせていたそう。
- ・見どころ：春に見られるシラネアオイの群生が人気。



有珠外輪山展望台から見た有珠新山と
銀沼火口（手前右）

噴火を繰り返してきた山・有珠山（うすざん）

- ・場 所：伊達市・壮瞥町・洞爺湖町
- ・標 高：733m（登り約90分、下り約60分が目安）
山頂部を囲む外輪山ルートが登山道になっている。
- ・名 前：アイヌ語の「ウス」（入江、湾の意味）が由来と言われる。
- ・山の姿：ごつごつした溶岩ドームが特徴。
- ・なりたち：約1～2万年前に誕生した火山。その後大きく崩れたが、再び噴火を繰り返すようになり、上部にいくつもの溶岩ドームができた。
- ・見どころ：1977年の噴火口「銀沼火口」と有珠新山。

※登山を楽しむために、登山靴・防寒具・飲料水など装備、体調管理はしっかりと。

※「入山届」（各登山口に設置されています）にも、記入を忘れずに。